

## 須磨ニュータウンてくてく探検隊Happyカメラマン ～小学生がふるさとの須磨ニュータウンを“記憶”にのこすワークショップ～を実施

平成24年2月4日(土)須磨区との地域連携協定により、「須磨ニュータウンてくてく探検隊Happyカメラマン～小学生がふるさとの須磨ニュータウンを“記憶”にのこすワークショップ～」を神戸女子大学家政学部 家政学科の梶木 典子准教授のゼミ生を中心とした学生21名が開催し、4～12歳までの子どもたち8名とその保護者4名が参加しました。



お姉さんに手伝ってもらい  
お気に入りの場所を額縁に合わせて撮影



「須磨ニュータウン展」で展示された写真と額縁

最初に子どもたちは自己紹介と「お父さんやお母さんが子どもの頃、よく遊んだ場所や遊び」について発表しました。続いて家政学科作製の「まちづくり学習絵本」を使いニュータウンについて学び、写真撮影用の額縁を自分で作りました。そして、まち探検に出発し、きれいな景色や面白い場所を探して額縁にあわせて撮影しました。

探検終了後は各自お気に入りの1枚を選び、選んだ理由、感想を発表しました。最後に「てくてく探検家」の認定証を梶木准教授から手渡されて終了となりました。写真と額縁は、探検した感想もあわせて2月9日(木)～14日(火)の間「須磨ニュータウン展」において展示されました。



参加者全員で認定証を持ち記念撮影

## NPO法人「輝たかくら台」に感謝状を贈呈



「輝たかくら台」の皆様との記念撮影

平成24年2月16日(木)須磨キャンパスにおいて、神戸女子大学波田 重熙学長から、NPO法人「輝たかくら台」(かがやきたかくらだい)に、感謝状が贈呈されました。

「輝たかくら台」の理事長であり高倉ふれあいのまちづくり協議会委員長でもある玉森 たりほ様と3人の代表の方においでいただき、本学からは波田学長、地域連携推進委員会委員長の齊山 美津子教授、「ふれあい給食」の開始に尽力された駿河 明子元教授、現在の運営担当の清水 典子准教授、大西 富子専任講師が出席し、永田 哲朗事務部長の司会で感謝状の贈呈が行われました。

神戸女子大学が平成17年から始めた近隣の一人暮らしの高齢者の方を対象とした「ふれあい給食」は、神戸市社会福祉協議会からの感謝状を授与されるなど高い評

価を得ています。

「ふれあい給食」は、「輝たかくら台」の皆様と本学との両輪で運営してきました。「輝たかくら台」の皆様はこの事業の開始にあたっては、ニーズの調査、来ていただく高齢者の方への事業の紹介や参加案内をしていただきました。現在、「ふれあい給食」は定期的で開催されていますが、「輝たかくら台」の皆様は、参加者の出欠確認や和やかな会場の雰囲気づくりなど大きな役割を果たしておられます。

## 中大連携教育交流を実施

平成24年2月14日(火)神戸女子大学須磨キャンパスにおいて、神戸市立高倉中学校の2年生135名と引率の先生10名を迎えて中大連携教育交流を行いました。

最初に、受講体験として通常の講義時間(90分)を半分に分け、神戸女子大学家政学部 管理栄養士養成課程の山本 勇教授が「微生物について」、瀬口 正晴教授が「パンについて」の講義を行いました。山本教授の講義のあと、瀬口教授の研究と講義の内容に関係のある「カルカデパン」を参加者に配布しました。瀬口教授の講義が終了すると、今度は実験室に移り山本教授の講義で勉強した微生物を光学顕微鏡で観察したり、食品加工実習室でパンを焼いている現場や図書館を訪れて書架、スタディールーム、アートギャラリーも見学しました。こうした教育交流が中学生の皆さんにとって将来の夢につながるものを見つける契機になれば、と願います。



図書館で地域連携推進委員会委員長 齊山 美津子教授の説明を受ける高倉中学校の皆さん

図書館で地域連携推進委員会委員長 齊山 美津子教授の説明を受ける高倉中学校の皆さん

## CODE SOUVENIR KOBE+NAGOYA 公開プレゼンテーションに家政学部家政学科の学生が参加

平成24年2月17日(金)神戸商工貿易センタービルにおいて開催された「CODE SOUVENIR KOBE+NAGOYA」(神戸市主催、クリエイティブ・デザインシティなごや推進事業実行委員会共催)で、スーベニア(お土産)のプレゼンテーションに神戸女子大学家政学部 家政学科の来海 素存専任講師のゼミ生が参加しました。

神戸市と名古屋市は平成20年10月にユネスコ創造都市ネットワーク(注1)のデザイン都市に認定されました。デザイン都市が平成22年から行っている「CODE—都市のアイデンティティ(注2)」を探る事業の一環として、観光客への歓迎の気持ちと記憶に残るその都市ならではのお土産を学生が提案するという企画がありました。今回、各都市から5大学、合計10大学(注3)が参加し、本学からは「こうべさんぽ」というアルバムつき観光ガイドをプレゼンテーションしました。

「こうべさんぽ」は自分へのお土産をテーマとし、ターゲットは女性の旅行客です。人気の3エリアを手書きの地図にして、お薦めの店や穴場のスポットを紹介。思い出の写真を取るアルバムにもなり、写真を飾るスタンドとしても活用できます。また、ポートタワー型ケースに入ったエコバックも付いており、旅行中のみならず帰宅後も使えます。学生が、「神戸市」の長所を考え、お土産を作ることで、地域貢献と情報発信の良い機会になりました。



「こうべさんぽ」展示の様子



ガイドブック



プレゼンテーションする学生

(注1)ユネスコ創造都市ネットワークとは、グローバル化の中でも文化的表現の多様性をめざすユネスコが、文化的な産業の振興により都市の活性化を目指す「創造都市」の連携と相互交流を支援するために2004年に創設したもの

(注2)「CODE」は、City Of DEsign(デザイン都市)を表し、また、個々のUNESCO DEsign Cityが持つ独自のコード(記号/シンボル)も表しています。

(注3)神戸市から参加の大学 神戸芸術工科大学、神戸夙川学院大学、神戸山手短期大学、流通科学大学、神戸女子大学  
名古屋市から参加の大学 愛知淑徳大学、椋山学園大学、名古屋芸術大学、名古屋工業大学、名城大学